

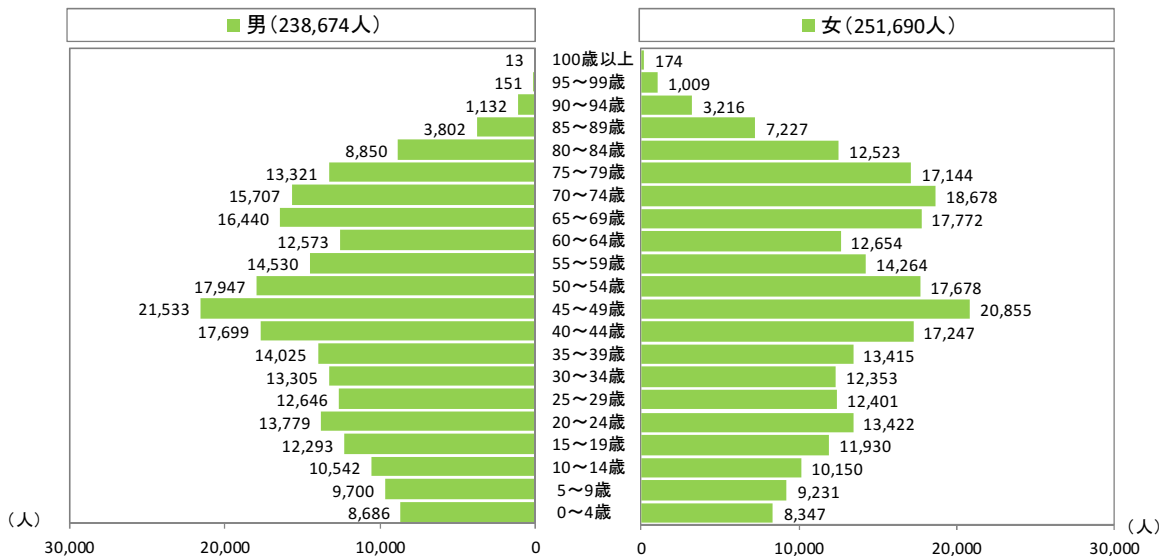
# 第2章 地域福祉を取り巻く東大阪市の現状

## 1 統計からみる市の現状

### (1) 人口構造

本市の人口ピラミッドをみると、下記のように45～49歳人口が多くなっています。

■人口ピラミッド



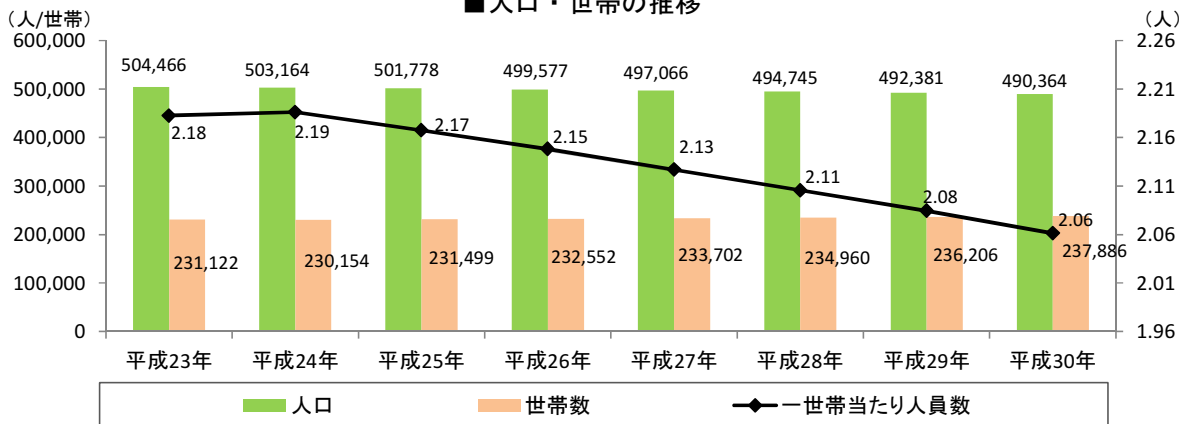
資料：住民基本台帳（平成30年9月末現在）

### (2) 人口・世帯の推移

本市の近年の人口は減少傾向にあります。平成25年まで50万人台で推移していましたが、平成26年に50万人を割り、平成30年に490,364人となっています。

世帯数は概ね増加傾向にあり、平成30年に237,886世帯となっています。一世帯当たり人員数は概ね減少傾向で、平成30年に2.06人となっています。

■人口・世帯の推移

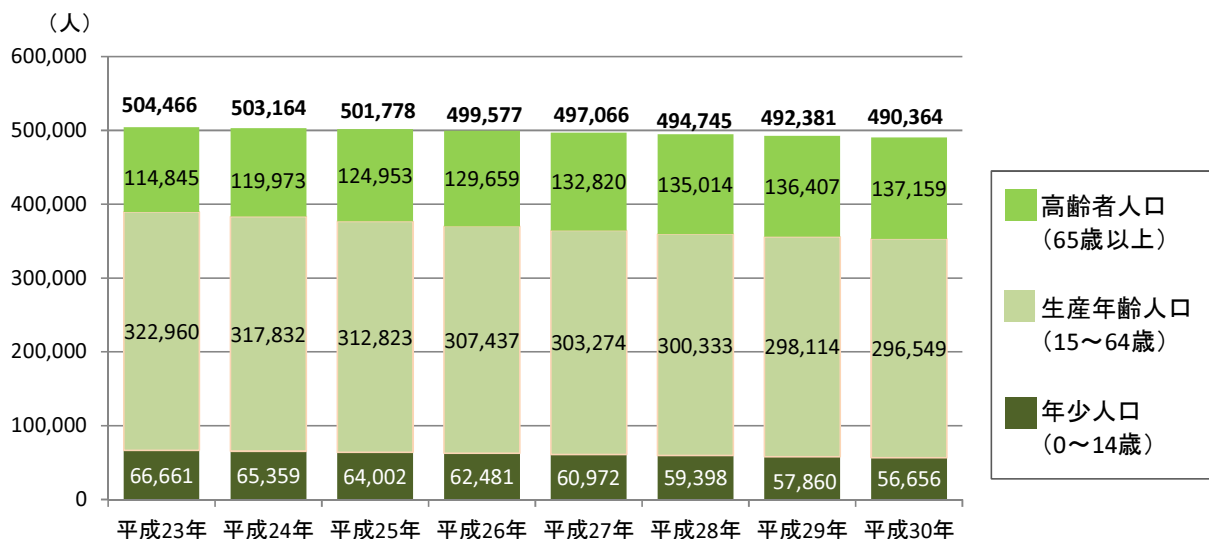


資料：住民基本台帳（各年9月末現在）

### (3) 年齢3区分別人口の推移

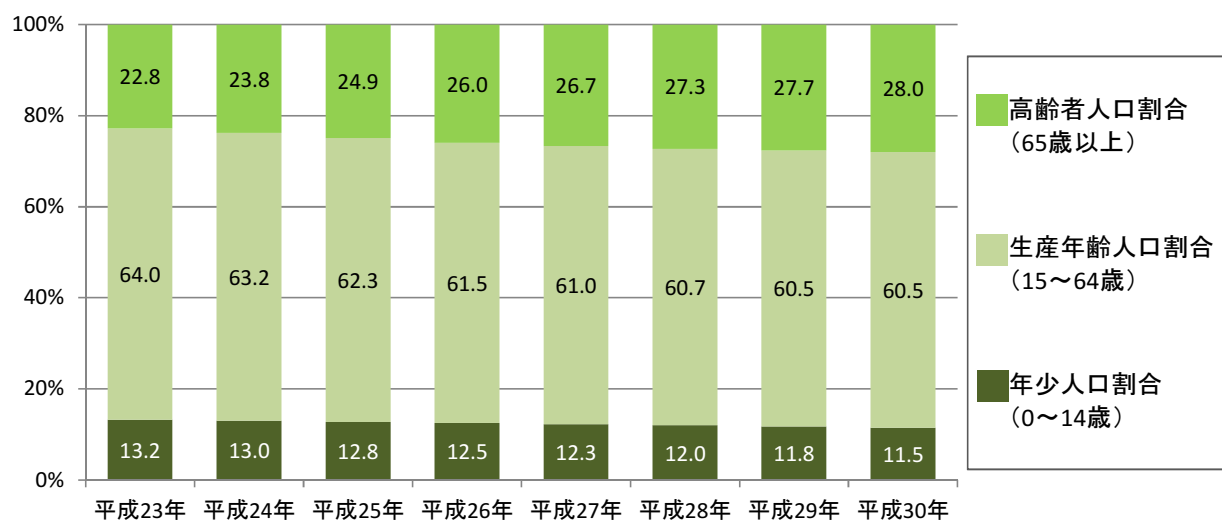
本市における近年の年齢3区分別人口推移をみると、年少人口及び生産年齢人口は減少傾向にある一方で、高齢者人口は増加しています。これにともない、年齢3区分別の人口構成割合も、同様の動きを示しています。

■年齢3区分別人口の推移



資料：住民基本台帳（各年9月末現在）

■年齢3区分別人口割合の推移

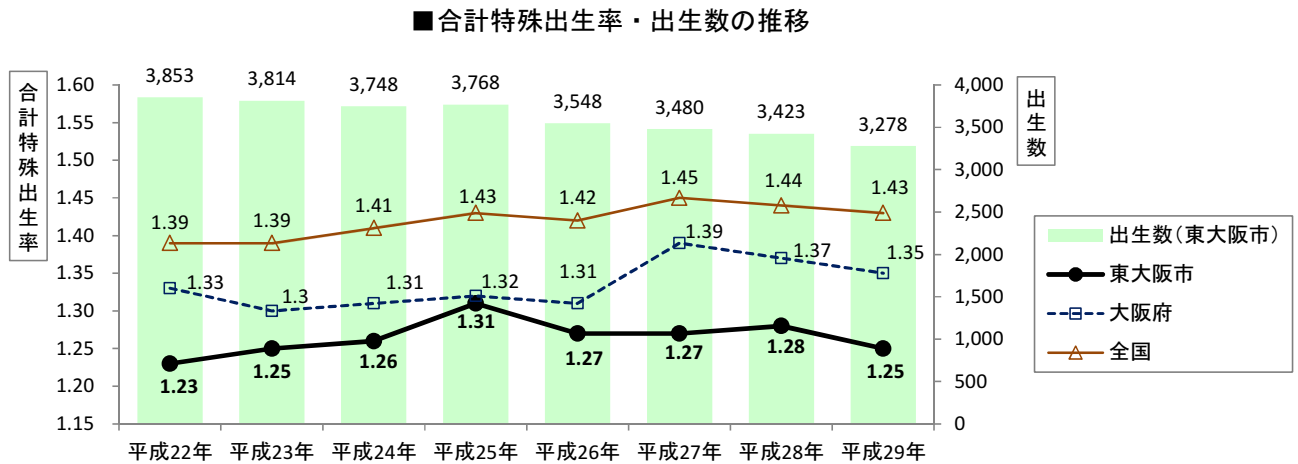


資料：住民基本台帳（各年9月末現在）

## (4) 子どもの状況

### ①出生の状況

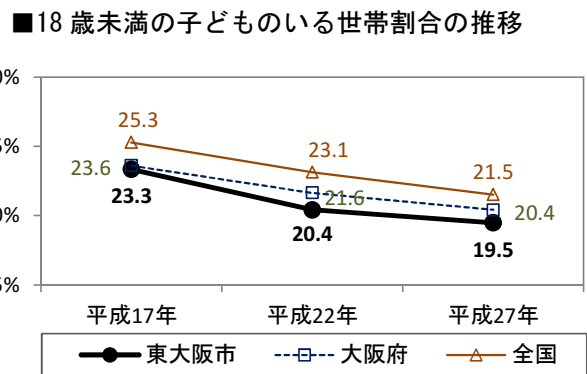
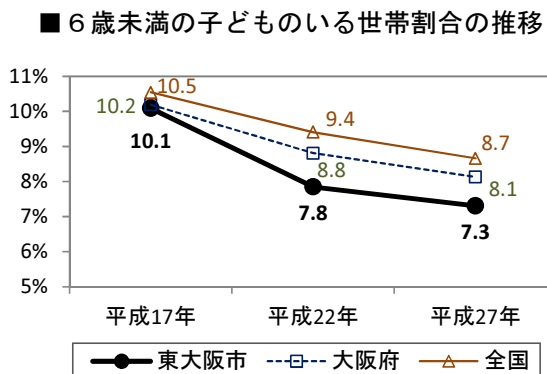
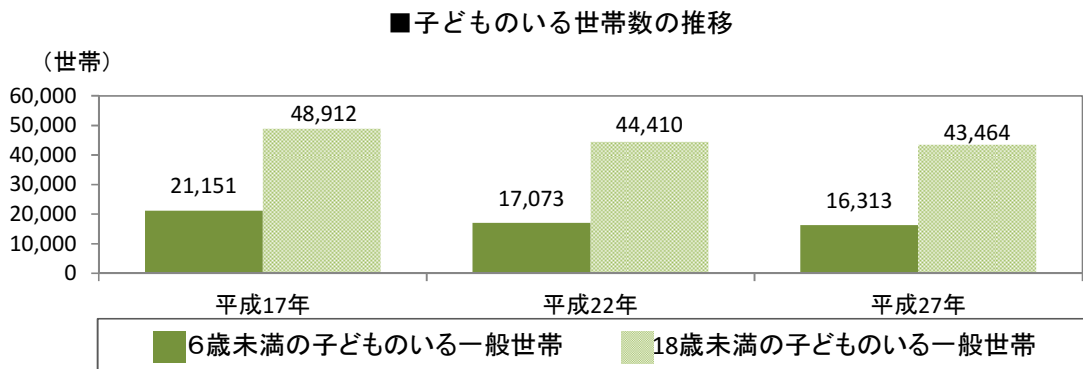
本市の出生数は減少傾向にあり、平成29年に3,278人となっています。合計特殊出生率は、全国や大阪府の値を下回って推移し、平成29年に1.25となっています。



資料：東大阪市

### ②子どものいる世帯の状況

本市では、6歳未満の子どものいる世帯、18歳未満の子どものいる世帯ともに減少しています。また、その割合は全国や大阪府より低い値で推移しています。



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

---

---

Hy d@Q f,, O9 Đ “Q” Ž ¥ N 9@Q 7 l 9  
^ TME E. •• À: %o1 R< • ~@Q — @Q À:E<d,- F G  
JWXYZ[\UV

---

Hy @Qst ] “ ~ \* Ž À: E<d, - F { ¶ # 1 • TMŝ = üđ  
cÃ• >œ • FG  
J]^ \_` abc d<[\UV

